

第10期【償還】

運用報告書(全体版)

為替参照 分配金変動型 円建て債券ファンド2012-01 (愛称 グッド・スマイル2012-01)

【2017年1月17日償還】

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単字型投信／海外／その他資産（通貨）／特殊型（条件付運用型）
信託期間	2012年1月31日から2017年1月17日までです。
運用方針	主として、高格付（取得時において、A格相当以上を基本とします。）のユーロ円建て債券に投資し、償還価額が投資元本に最終計算期間の分配相当額を加算した価額となることを目標とします。 投資対象とするユーロ円建て債券は、米ドル／円為替レートの水準に応じてクーポンが決定される仕組みです。
主要投資対象	高格付（取得時において、A格相当以上を基本とします。）のユーロ円建て債券を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎年1月17日、7月17日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、元本超過額または経費控除後の利子・配当等収益のいずれが多い金額とします。 分配金額は、委託会社が、目標分配額を参考に、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、収益分配を行わないことがあります。

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「為替参照 分配金変動型円建て債券ファンド2012-01（愛称 グッド・スマイル2012-01）」は、2017年1月17日をもちまして信託約款の規定に基づき、償還となりました。ここに設定以来の運用経過及び償還内容のご報告をいたしますとともに、皆様のご愛顧に対して改めてお礼申し上げます。

今後とも、弊社ファンドに対しまして、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 **岡三アセットマネジメント**

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214（営業日の9:00～17:00）

【ホームページ】

<http://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はおお客様のご負担となります。
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			受 益 者 利 回 り	米ドル/円為替レート		債 券 元 本 率 組 入 比 率 残 存 率
		税 分 配 金	期 騰 落 額	中 期 騰 落 率		(参考為替)	期 騰 落 率	
(設定日) 2012年1月31日	円 銭 10,000	円 -	円 銭 -	% -	% -	円 76.19	% -	% 100.0
1期(2012年7月17日)	9,211	80	△709	△7.1	△15.4	78.92	3.6	97.4
2期(2013年1月17日)	9,850	80	719	7.8	0.1	88.73	12.4	97.4
3期(2013年7月17日)	9,776	80	6	0.1	0.1	99.40	12.0	97.2
4期(2014年1月17日)	10,069	80	373	3.8	2.0	104.34	5.0	97.2
5期(2014年7月17日)	10,094	80	105	1.0	2.0	101.49	△ 2.7	97.1
6期(2015年1月19日)	10,000	80	△ 14	△0.1	1.6	117.10	15.4	96.9
7期(2015年7月17日)	9,952	80	32	0.3	1.5	124.05	5.9	96.8
8期(2016年1月18日)	9,844	80	△ 28	△0.3	1.2	117.18	△ 5.5	96.7
9期(2016年7月19日)	9,801	80	37	0.4	1.2	106.05	△ 9.5	96.5
(償還時)	(償還価額)							
10期(2017年1月17日)	10,220.19	-	419.19	4.3	1.9	113.39	6.9	-

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、設定日の基準価額は、1万円当たりの当初設定元本額です。

(注) 基準価額の期中騰落額と期中騰落率、および受益者利回りは、分配金(税引前)込みです。

(注) 受益者利回りは、設定以来の年率換算利回りです。

(注) 米ドル/円為替レートは、当日の東京時間午後3時におけるロイター画面「JPNU」に表示される米ドル/円為替相場(1米ドルに対する円の価値)の仲値(売値と買値の平均値(小数点以下第3位切捨て))です。米ドル/円為替レートは、参考為替であり、当ファンドのベンチマークではありません。米ドル/円為替レートの仲値は、トムソン・ロイター・マーケット株式会社のデータを基に、岡アセットマネジメントが算出しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額	基準価額		米ドル/円為替レート		債 券 元 本 率 組 入 比 率 残 存 率
		騰 落 率	騰 落 率	(参考為替)	騰 落 率	
(期首) 2016年7月19日	円 銭 9,801	% -	% -	円 106.05	% -	% 96.5
7月末	9,828	0.3	0.3	103.62	△ 2.3	96.1
8月末	9,909	1.1	1.1	103.11	△ 2.8	96.2
9月末	9,982	1.8	1.8	101.09	△ 4.7	96.2
10月末	10,050	2.5	2.5	104.75	△ 1.2	96.3
11月末	10,126	3.3	3.3	112.77	6.3	96.4
12月末	10,203	4.1	4.1	116.69	10.0	95.7
(償還時)	(償還価額)					
2017年1月17日	10,220.19	4.3	4.3	113.39	6.9	-

(注) 騰落率は期首比です。

当ファンドの設定に伴い、決定した事項等は以下の通りです。

当初為替	76.18円 ※2012年1月31日、2012年2月1日及び2012年2月2日における米ドル/円為替レートの平均値 (小数点以下第3位切捨て)とします。 《参照した3営業日間の米ドル/円為替レート》 2012年1月31日 76.19円 2012年2月1日 76.22円 2012年2月2日 76.14円			
分配額判定為替	71.18円 ※当初為替に対して5円円高米ドル安の為替レートとします。			
ファンドの信託報酬率	毎 日：信託財産の元本総額に対して年率0.4644% (税抜0.43%) うち委託会社 年率0.4320% (税抜0.40%) うち受託会社 年率0.0324% (税抜0.03%) ※当期末における消費税率は8%です。 設定日：信託財産の元本総額に対して2.10% (税抜2.00%) 販売会社 2.10% (税抜2.00%) ※設定日における消費税率は5%です。			
目標分配額 (1万口当たり、税引前)	高位の目標分配額 各期80円	低位の目標分配額 各期20円		
	※目標分配額は、組入れたユーロ円建て債券の発行体が債務不履行や財務状況の悪化等に陥らず、当初予想通りの運用成果が得られた場合のものです。したがって、分配額を保証するものではありません。また分配方針に基づいて、収益分配を行う予定ですが、収益分配金の支払いを保証するものではありません。 ※各計算期間において大量の途中換金の申込を受付けた場合には、目標とする分配額の一部あるいは全部をお支払いできないことがあります。			
ユーロ円建て債券の発行体	モルガン・スタンレー ※債券の銘柄入れ替えを行う場合があります。	発行体格付 スタンダード・アンド・プアーズ ムーディーズ	設定日 A- A2	当期末 BBB+ A3

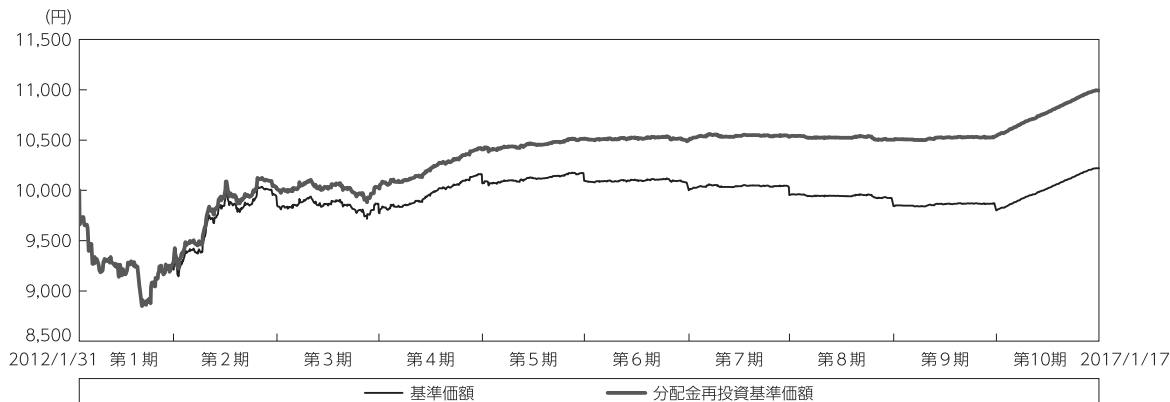
※ムーディーズ、スタンダード・アンド・プアーズとも金融商品取引法に基づいた信用格付業者の登録を受けておりません。

※ユーロ円建て債券の発行体の破綻や財務状況の悪化、および発行体の財務状況に関する外部評価の変化等の影響により、ユーロ円建て債券の価格が大きく下落することや、投資資金が回収不能となる場合があります。このような場合には、ファンドの基準価額が大幅に下落し、大きな損失を被ることになります。

運用経過

設定以来の基準価額等の推移

(2012年1月31日～2017年1月17日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
なお、当ファンドは単位型投信であり、実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。
- (注) 分配金再投資基準価額は、設定日(2012年1月31日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

設定以来の投資環境

(2012年1月31日～2017年1月17日)

(債券市場)

国内の債券市場は、当ファンドの設定以来の期間において、10年国債利回りが低下しました。設定後は、欧州債務問題や日米欧の中央銀行が金融緩和姿勢を強めたことを背景に、10年国債利回りは低下基調が続きました。2013年4月には、日銀が「量的・質的金融緩和」の導入を決定し、10年国債利回りは急低下しました。しかし、利回りの急低下に対する反動や、米連邦準備制度理事会(FRB)議長が資産購入規模の縮小の可能性を示し、米長期金利が上昇したことを受け、10年国債利回りは急上昇しました。その後、日銀による国債買入れを背景とする良好な債券需給により、10年国債利回りは再び低下に向かいました。2014年入り後は、欧州中央銀行(ECB)によるマイナス金利導入に加え、10月には日銀が追加緩和を決定し、国債需給の逼迫感が意識され、10年国債利回りは一段と低下しました。さらに、2016年1月末に日銀がマイナス金利の導入を決定したことから、10年国債利回りは低下基調を強め、一時、-0.300%と過去最低水準まで低下しました。その後、日銀は7月末の金融政策決定会合において追加緩和を決定したものの、次回会合で金融政策の「総括的な検証」を行うと表明し、金融政策の先行き不透明感が強まったことから10年国債利回りが上昇しました。9月の決定会合では日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の導入を決定すると、10年国債利回りは0%をやや下回る水準で推移しましたが、米国の大統領選挙結果を受けて米長期金利が大幅に上昇した影響から、10年国債利回りはプラス圏へ上昇しました。

(為替市場)

当ファンドの設定以来の期間において、米ドルが対円で上昇しました。設定後は、欧州債務問題への懸念や内外金利差縮小により円高圧力が強まったことなどから、円高傾向が続きました。しかし、2012年12月に第二次安倍政権が誕生し、デフレ脱却に向けた積極的な経済対策が打ち出されたことで、株価が上昇基調となったことに加え、日銀

が金融緩和を実施したことを背景に、米ドルが対円で急上昇する展開となりました。2014年に入ると、米国の早期利上げ観測が高まったことや、10月には日銀が追加緩和を発表したことから、米ドルが対円で一段と上昇しました。2015年後半以降は、中国の景気減速懸念や原油安などを背景に、金融市場が不安定な動きとなったことから、米ドルが対円で軟調に推移しました。2016年においては、1月末に日銀がマイナス金利導入を決定し、円安が進行する場面もありましたが、欧州の銀行の信用不安や英国の欧州連合 (EU) 離脱が決定したことを背景にリスク回避の動きが強まったことや、米国の早期利上げ観測の後退に加え、日銀の追加緩和観測の後退を受けて、米ドルが対円で下落基調となりました。しかし、11月以降は米国の大統領選挙結果を受けて米金利が急上昇したことから、米ドルが対円で急反発しました。

(クレジット市場)

当ファンドの設定以来の期間において、組み入れているユーロ円建て債券の発行体であるモルガン・スタンレーの信用スプレッド (国債に対する利回り格差) は縮小しました。設定当初から2012年前半にかけては、欧州債務問題から金融機関に対する信用不安が高まったことや、米格付会社がモルガン・スタンレーの格付けを引き下げたことから、信用スプレッドが拡大しました。その後、欧州債務問題に対する懸念も後退し、信用スプレッドは縮小しました。2013年央にかけては、米国で量的緩和第3弾 (QE3) の早期縮小が意識され、世界的に株価が下落したことで、信用スプレッドは一時的に拡大する場面もありました。しかし、米国の金融緩和政策が長期化するとの見方や、ECBによる追加金融緩和への期待の高まりに加え、堅調な欧米株価動向を背景に、信用スプレッドは2014年央にかけて縮小基調を辿りました。その後は概ねレンジでの推移が続きました。2016年入り後は、中国株安・人民元安や原油価格の下落から、世界的な株安が進行する中、銀行規制強化に伴う収益の悪化などが意識されるとともに、欧州金融機関に対する懸念が高まったことや、英国のEU離脱決定を受けた投資家心理の悪化の影響から、信用スプレッドが拡大する場面もありました。しかし、2016年央以降は欧州金融機関に対する懸念や英国の政治に対する不透明感が徐々に後退し、欧米の株価が堅調に推移したことから、信用スプレッドは縮小しました。

設定以来の当ファンドのポートフォリオ

(2012年1月31日～2017年1月17日)

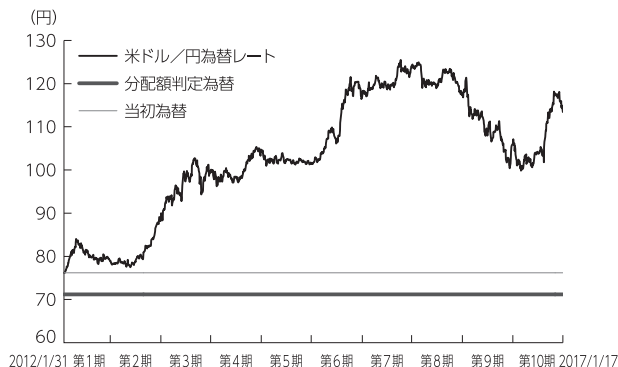
投資方針に従い、設定日 (2012年1月31日) に買い付けた、米ドル/円為替レートの水準に応じて利金額が決定される仕組みを持つ、モルガン・スタンレー発行のユーロ円建て債券を高位に保ちました。なお、ユーロ円建て債券は、2017年1月11日に満期償還となりました。

設定以来の当ファンドのベンチマークとの差異

(2012年1月31日～2017年1月17日)

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、分配金も考慮した設定以来の基準価額の騰落率は、参考為替としている米ドル/円為替レートの騰落率を下回りました。

設定以来の米ドル/円為替レートの推移



○1万口当たりの費用明細

(2016年7月20日～2017年1月17日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝計算口当たり計理上元本×信託報酬率
(投 信 会 社)	(22)	(0.215)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(－)	(－)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.006	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託支払手数料
合 計	24	0.237	
期中の平均基準価額は、10,016円です。			

- (注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税を含む)は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年7月20日～2017年1月17日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	普通社債券(含む投資法人債券)	—	108,784 (5,425,513)

- (注) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれておりません。)
 (注) 単位未満は切捨てです。
 (注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注) 普通社債券(含む投資法人債券)には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2016年7月20日～2017年1月17日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年1月17日現在)

有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2017年1月17日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	5,677,740	100.0
投資信託財産総額	5,677,740	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2017年1月17日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	5,677,740,579
コール・ローン等	5,677,740,579
(B) 負債	13,151,241
未払信託報酬	12,834,487
未払利息	8,945
その他未払費用	307,809
(C) 純資産総額(A-B)	5,664,589,338
元本	5,542,548,405
償還差益金	122,040,933
(D) 受益権総口数	5,542,548,405口
1万口当たり償還価額(C/D)	10,220円19銭

(注) 計算期間末における1口当たり純資産額は1.022019円です。

(注) 当ファンドの設定元本額は6,606,092,247円、期首元本額は5,654,650,258円、期末における元本残存率は83.9%です。

○損益の状況 (2016年7月20日～2017年1月17日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	64,616,992
受取利息	63,747,222
その他収益金	952,782
支払利息	△ 83,012
(B) 有価証券売買損益	184,024,793
売買益	184,898,963
売買損	△ 874,170
(C) 信託報酬等	△ 13,314,919
(D) 当期損益金(A+B+C)	235,326,866
(E) 前期繰越損益金	△ 112,684,305
(F) 解約差損益金	△ 601,628
償還差益金(D+E+F)	122,040,933

(注) 損益の状況の中で、(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額、監査費用を含めて表示しています。(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2012年1月31日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2017年1月17日			資産総額	5,677,740,579円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	13,151,241円	
受益権口数	6,606,092,247口	5,542,548,405口	△1,063,543,842口	純資産総額	5,664,589,338円	
元本額	6,606,092,247円	5,542,548,405円	△1,063,543,842円	受益権口数	5,542,548,405口	
				1万口当たり償還金	10,220円19銭	
毎計算期末の状況						
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金		
				金額	分配率	
第1期	6,589,092,247円	6,069,363,811円	9,211円	80円	0.8%	
第2期	6,588,062,247	6,489,193,330	9,850	80	0.8	
第3期	6,509,462,247	6,363,950,074	9,776	80	0.8	
第4期	6,427,362,247	6,471,939,895	10,069	80	0.8	
第5期	6,248,762,247	6,307,353,403	10,094	80	0.8	
第6期	6,083,348,972	6,083,466,696	10,000	80	0.8	
第7期	5,859,498,972	5,831,459,118	9,952	80	0.8	
第8期	5,779,338,972	5,689,129,681	9,844	80	0.8	
第9期	5,654,650,258	5,541,965,953	9,801	80	0.8	
信託期間中1万口当たり総収益金及び年平均収益率				940円19銭	1.8938%	

○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金	10,220円19銭
-----------	------------

〈お知らせ〉

該当事項はございません。